

香川大学 博物館

The Kagawa University
Museum

未来の自分は
好奇心の先に



Facebookでも情報発信中!

[https://ja-jp.facebook.com/
KagawaUnivMuseum](https://ja-jp.facebook.com/KagawaUnivMuseum)

収蔵庫には貴重な資料が
たくさん保管されています。



寺林優教授(工学部・香川大学博物館長併任)らが
平成25年度文部科学大臣表彰科学技術賞を受賞

香

川大学博物館は、2008
年4月に開館した四国初

の大学博物館です。研究者が個人
で管理していた貴重な標本・資料
を収蔵・保管し、展示をおして
学内外に公開することで教育・

研究成果の普及に努めるという
役割を担い、企画展、体験教室、
公開講座、講演会、ミュージアム・
レクチャー、中学校や高校と連携
したフィールドワークなどを開催
してきました。

「本物」が感動呼ぶ

特に反響が大きかったのは、
2011年秋に開催した「小惑星
探査機「はやぶさ」帰還カプセル
展」です。入場者は5日間で1万人
を超え、子どもからお年寄りまで
が、小惑星「イトカワ」までの旅
を成し遂げたカプセルの実物に
目を輝かせました。「展示を見て
宇宙に関係する進路を選んだ生
徒もいます。本物に接した経験
は一生心に残るものです」と博
物館長を務める工学部の寺林優

教授。日本万国博覧会で「月の
石」を見て地質学を志したとの
こと。香川大学博物館は本物に
接する機会を大切にしています。

文部科学大臣表彰

地域の人々が自然科学を身近
に感じられる多くの活動が評価
され、博物館に関わってきた寺林
教授を含む5人が、平成25年度
文部科学大臣表彰科学技術賞
(理解増進部門)を受賞しました。
大学博物館関係者の受賞は全国
でも初めてではないかとのこと。
「全学体制で立ち上げや活動を行
ってきており、これまで関わっ
てきた多くの教職員全員での受賞
だと感じています」と寺林教授は
語ります。

多面的な切り口の展示も学部
間の連携があつてこそです。7月
19日から8月31日まで「ため池」
に関する企画展を開催します。
「『入つていいの?』と聞かれること
も多いのですが、これを機にぜひ
見に来てください。」